

# (案)

## ■第3次スポーツマスタープラン 令和元年度取組み評価シート

### 施策(1) 活動プログラムの充実

スポーツには「する、みる、ささえる」など多様な関わり方があることから、だれでも、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツ活動に関わることができるよう、様々なプログラム活動への参加の機会を提供する。

(1) 主たる内容	(2) 参考数値			
○スポーツへの参加機会の拡大	評価指数 /年度	29	30	31
○スポーツを始めるきっかけづくり ○地域におけるスポーツ活動推進	各種大会、 イベント参加者数	27,635	24,204	24,162
○競技力の向上 ○子どもの体力向上	全国大会等への 出場者数	453	494	420
(3) 関連事業の取組み状況 全53事業 子どもから高齢者まで、幅広い世代を対象に様々な事業を実施している。特に高齢者世代に対しては多くの事業を実施することができている(長寿課9事業)。				
(4) 課題への取組み状況 これまでの事業については継続して実施しているが、スポーツに取り組む時間を取りにくい世代(女性及び働く世代など)に対する解決策などをとることができていない。				
(5) 評価、今後の方向性 ・スポーツの実施頻度の低い女性及び働く世代のスポーツ実施率の向上に向けて、新規事業の実施や現事業の拡大や見直しを行い、他課等と連携した事業の実施(新規・継続・拡大)を検討する。 ・人口割合の高い高齢者層を対象にした事業を実施(継続及び拡大)し、スポーツ実施率の向上を目指していく。 ・次世代を担う子どもたちが、幼少期からスポーツに触れる機会を増やし、スポーツが好きになるような事業の実施を検討する。				

■第3次スポーツマスタープラン 令和元年度取組み評価シート

施策（2） クラブ・団体の育成

市民が所属するクラブ・団体の安定的な運営の確保とともに、組織力の強化を支援し、クラブ・団体の育成を通じて、スポーツ活動の充実を図る。

(1) 主たる内容	(2) 参考数値			
○ 総合型地域スポーツ	評価指数 / 年度	29	30	31(1)
クラブの育成	総合型地域スポーツクラブ加入者数	2,208	2,198	2,148
○ 統括団体の組織強化	スポーツ協会加入者数 (スポーツ少年団加入者数)	11,966 (706)	11,775 (681)	11,959 (655)
	レクリエーション協会加入者数 (スポーツ関係団体分)	846	857	860
<p>(3) 関連事業の取組み状況 全7事業(すべて継続)</p> <p>各団体へ補助金の交付等による活動支援や候補活動の実施、各団体主催(主管)の大会等の開催などを行っている。</p>				
<p>(4) 課題への取組み状況</p> <p>平成29年度の市民アンケートで総合型地域スポーツクラブ認知度「クラブを知らない人」が68.8%あったが、認知度向上に向けた新しい取組み等は実施できていない。</p>				
<p>(5) 評価、今後の方向性</p> <p>[総合型地域スポーツクラブ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>認知度の向上に向け、情報の発信だけでなく、市民ニーズに合った教室や講座などの開設を各クラブに検討頂くなど、自主的・自立的な取組みをするような体制を整える。また、現在の会員数を下回ると運営に支障が出るクラブもあるため会員数増加に向けた取組みを行う必要がある。(令和2年度にクラブ啓発地区回覧実施予定)</li> </ul> <p>【参考：総合型地域スポーツクラブへの参加意向】</p> <p>「自分の希望する活動があれば参加してみたい(27.4%)」</p> <p>「どんなことができるのか分からないのでとりあえず知りたい(38.5%)」</p> <p>[スポーツ協会・レクリエーション協会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各団体の加入者数について、この数年はほぼ横ばいであるが、微増を目指す。</li> <li>各団体は地域のスポーツ振興の中心であり、本市のスポーツ推進の中核を担う組織であるため、継続した支援を行い、組織の充実・強化を図っていく。</li> </ul>				

## ■第3次スポーツマスタープラン 令和元年度取組み評価シート

### 施策（3） 施設の整備・充実・開放

さまざまなスポーツ施設において、その利用状況なども加味し、どのようなサービスを、どの施設で提供するかを考慮して、市民が活動しやすい施設の整備・充実を検討する。また、市民が安心して、気軽にスポーツ施設を利用することができるよう、既存施設については、より適正な管理・運営に努める。

(1) 主たる内容	(2) 参考数値			
○施設の計画的な整備・修繕	評価指数 / 年度	19	25	29
○既存施設の適正な管理運営	スポーツ施設の利用	45.3	66.6	74.2
○活動拠点の充実	に満足している人 (%)		(+21.3)	(+7.6)
<p>(3) 関連事業の取組み状況 全17事業（すべて継続）</p> <p>市民が運動を楽しむ活動拠点として、小中学校体育施設スポーツ開放事業、企業体育館の借用、公園や体育施設の管理・改修・修繕など、各施設の適正な管理、運営を行っている。</p>				
<p>(4) 課題への取組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の体育施設利用状況が慢性的に飽和状態である（良い面でもある）。</li> <li>・企業体育館の借用が令和2年度7月をもって終了する予定であるが、新規の活動拠点を確保できていない。</li> </ul>				
<p>(5) 評価、今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・満足度は非常に伸び率も高く順調であるため、引き続き適正な管理、運営を行うとともに、より安心してスポーツ施設が利用できるように準備等を行う。</li> <li>・さらに利用満足度がより高くなるように施設管理や運営体制を整える。</li> </ul> <p>特に小中学校体育施設スポーツ開放事業については、利用者の利便性の向上や、学校での事務負担の軽減のため利用予約のシステム化を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民利用ができるスポーツ施設の新規確保等について検討する。</li> </ul>				

### ■第3次スポーツマスタープラン 令和元年度取組み評価シート

#### 施策（4） ささえる人材の育成

市民がスポーツ活動を継続するためには、だれもが気軽に参加できるスポーツプログラムとそれを適切に指導する指導者やその運営を支援するスポーツボランティアなどのささえる人材が必要であることから、市民がスポーツ活動に取り組み、継続できるよう、指導者やスポーツボランティアなどのささえる人材の育成に努める。

(1) 主たる内容	(2) 参考数値			
○優れた指導者の育成と確保	評価指数 / 年度	29	30	31(1)
○地域のスポーツリーダーの充実	スポーツリーダー養成講座修了受講者数	38	41	48
○指導者のネットワークづくり	「ささえるスポーツ」の認知度（一般）（%）	12.3	-	-
○スポーツボランティアの育成と確保	スポーツ推進委員認知度（知らない人）（%）	60.2	-	-
<p>(3) 関連事業の取組み状況 全5事業（すべて継続）</p> <p>スポーツ推進委員事業やスポーツリーダー養成講座事業を実施し、地域のスポーツリーダーが育つような取組みを行っている。</p>				
<p>(4) 課題への取組み状況</p> <p>スポーツボランティアを一般募集するイベントがほとんどないため、「ささえるスポーツ」を実践する機会の提供の拡大が図れていない。</p>				
<p>(5) 評価、今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツチームが多い地域性を活かし、引退したアスリート等が指導者として活動できる環境を整備する方法を研究する。</li> <li>・身近なスポーツリーダーであるスポーツ推進委員の活動支援を行う。</li> <li>・スポーツ推進委員の認知度向上と活動・イベント周知を行い、気軽に市民がスポーツに取り組める環境を整備する。</li> <li>・過去の実績により、指定の団体（学校や近隣企業など）のみにボランティアを募集しイベントを開催するだけでなく、今後は幅広く一般募集する方法を検討する。</li> <li>・スポーツリーダー養成講座の修了受講者の活用方法について検討する。</li> </ul>				

### ■第3次スポーツマスタープラン 令和元年度取組み評価シート

#### 施策（5） 情報の提供

市民がいつでも、どこでも手軽にスポーツに関する情報を得られる環境づくりに努め、市民のスポーツ活動のきっかけづくりや活動の継続を図る。

(1) 主たる内容	(2) 参考数値				
○スポーツ情報の積極的な発信	評価指数 / 年度	19	25	29	31(1)
	スポーツ行事の情報を知らなかったと回答した人の割合 (%)	13.5	13.7	17.2	-
	スポーツ行事の情報源 (市民だより) (%)	68.6	64.6	35.4	-
<p>(3) 関連事業の取組み状況 全12事業 (うち2事業拡大、10事業継続)            拡大事業「市民だより、ホームページ、あいかりへの掲載」            「刈谷市拠点トップアスリートのPR」</p>					
<p>(4) 課題への取組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートの結果を受けて、これまでの発信方法に加え、SNSの新規取り入れ等、情報提供の多様化に向け導入の準備に努めた。</li> <li>イベント情報だけでなく、ホームタウンパートナーチーム特集、オリンピック特集を市民だよりに掲載し、スポーツ情報により親しみをもって頂くよう工夫をした。</li> </ul>					
<p>(5) 評価、今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SNS等の普及によりスポーツ行事の情報を市民だよりから得る割合が相対的に低下し(平成19年度68.6%→平成29年度35.4%)、様々な広報媒体から情報を得る時代になった。こうしたニーズに対応するため、様々な方法でスポーツ情報を発信し、広く市民にスポーツ情報を知ってもらうようにする。            (参考：スポーツ課公式インスタグラムフォロワー数380名)</li> <li>情報発信にあたっては、ターゲットを整理し、スポーツ実施率の向上に直結するような効果的な方法を検討する。(例：学校、子育て世代、働く世代 など)</li> </ul>					

■第3次スポーツマスタープラン 令和元年度取組み評価シート

施策（6） スポーツを通じたまちづくり

本市の恵まれたスポーツ環境を活用し、スポーツを通じて派生するさまざまな交流活動、市の魅力向上・発信など、魅力と活力にあふれるまちづくりに取り組む。

(1) 主たる内容	(2) 参考数値			
○スポーツ交流の促進	評価指数 / 年度	29	30	31(1)
○ホームタウンパートナーチームとの連携による市の魅力向上・発信	ホームタウンパートナーチームの認知度 (%)	37.8	-	-
○スポーツを通じたまちづくり	トップリーグ等の試合数(回)	59	58	51
	キラキラ教室開催数(回)	3	2	5
<p>(3) 関連事業の取組み状況 全8事業</p> <p>東京2020オリンピックの事前キャンプや国際大会の招致活動、幅広い競技の日本トップレベルの大会の開催により、市民に優れたスポーツ文化に多く触れてもらうための機会の提供に努めた。</p>				
<p>(4) 課題への取組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本市の大きな地域性であるホームタウンパートナーチームと協力し、刈谷わんさか祭りで啓発ブースを出店するなど様々な分野で地域貢献活動の実施をした。そのほか、小中学生向けにキラキラ教室を開催してアスリートと交流をする機会を提供するなど、スポーツを通じた交流の促進に努めた。</li> </ul>				
<p>(5) 評価、今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームタウンパートナーチームがもっと地域に根付いたものとなるように、スポーツ分野以外の取組み(他課等との連携の拡充)に力を入れる。</li> <li>教育現場と連携した取組みの強化(学校訪問型キラキラ教室など)を行う。</li> <li>ホームタウンパートナーチームの認知度向上に向けた取組みを検討する。</li> </ul> <p>(参考：各チームによるスポーツ教室動画の作成など)</p>				